

ミシェル・ウィーが絶賛、土佐の魚！

～絶好のPRチャンスを逃すな～

高知県海洋局

か つ お 通 信

高知市丸の内
高知県海洋局
久保田寿一
発行人 海洋企画課
編集人 無料
定 価



黒潮カントリークラブ
(彼女の写真は掲載できませんm(_ _)m)



イセエビ礁に潜むイセエビ

「カシオワールドオープン」は、開催回数25回を誇るゴルフのビッグトーナメントですが、カシオ計算機株式会社の創業者、樫尾忠雄氏の出生地が本県であるという縁で、昨年からは安芸郡芸西村の「黒潮カントリークラブ」で開催されています。

昨年のトーナメントを大いに盛り上げたのが、米国ハワイの現役高校生でありながら既にアメリカのツアーで上位を争う「ミシェル・ウィー」の参戦でした。

今回は、「ミシェル・ウィー」が土佐の魚を絶賛したという情報を得ましたので、この状況と併せて彼女が食した土佐の魚に関する話題もご紹介いたします。

■「ミシェル・ウィー」って？

1989年に米国ハワイ州で韓国系米国人の両親の間に生まれ、現在16才の現役高校生。韓国語名はウイ・ソニミ。ハワイ大教授である父の教えで4歳からゴルフを始め、5歳にはドライバースョットを100ヤード飛ばしたという逸話も。

15歳にして全米女子プロゴルフ選手権2位入賞など数々の成績をおさめた後、16歳の誕生日前にプロに転向。

ゴルフの実力に加え、モデル並みの長身、美貌も兼ね備え、大手スポーツメーカーなどのスポンサー契約は1億円とも言われる、今、最も注目される女子ゴルファーです。

■「土佐の魚を賞味

彼女は、週に2度は寿司や刺身などをとる親日家で、特に魚介類が大好物だそうです。

高知に滞在した際には、イセエビ、タビエビ、ウナギなどの土佐の魚を食したとの情報を得ています。

漁協合併を推進しましょう

● 購買は漁協を利用しましょう
● 預金、公共料金は信漁連へ

■ホテルではエビ類を

宿泊したホテルでは、地元芸西産イセエビと、室戸産のタビエビをポイルやお造りで食されたようです。

特にタビエビが気に入ったようで、「今年高知へ行った時にはぜひまた食べたい」とのコメントが新聞にも掲載されていました。少しこれらのご紹介を・・・

■イセエビ

水深0～40mの岩礁地帯に棲む。夜行性で昼は岩の間などに潜む。貝類、ゴカイ、エビ、カニなどが餌。本県では建網で年間35～55トン漁獲される。

■タビエビ(ソウリエビ)

干葉以南の水深0～30mに棲息するセミエビ科の1種。イセエビよりも美味だが、漁獲量が少ないためほとんど流通されず地元で消費される。



タビエビ(ソウリエビ)



一般的な鰻重のイメージ画像です

■いままでで1番

予選落ちで空いた日は高知を観光し、昼食には南国市の某ウナギ専門店を訪れました。(※この店では、ウナギは主に高知産を使用とのこと。)

ホテルから電話を受けた店のご主人は、短い時間でしかも他の客を遠ざけて欲しいとの申し出を快く引き受け、この店自慢の鰻重(ウナギ1本半入り)を振る舞ったそうです。

その評価は、雑誌等でも「今まで食べたウナギの中でも一番」と語っているほど強く印象に残ったようです。

■チャンス到来

彼女の「カシオワールドオープン」への再チャレンジが決まり、本人も土佐の魚を食べるのを楽しみにしているとのこと。

漁業者の皆さん、エビやウナギに限らず、自慢の土佐の魚をPRする絶好の機会を見逃す手はないですよ！

食べずに、ほとんどお父様が召し上がったようです。

漁業経営のことなら、今すぐお電話を！

専門アドバイザーが、漁業経営、流通改善について無料でご相談に応じます。まずはお電話を！



- 漁業経営指導協会 tel 088-825-3980
- 上原アドバイザー tel 090-1570-4904

「商魂正しい」

海況変化のせいか最近アザラシがよく川に上がり、多摩川のタマちゃんに始まり、多摩川のお隣徳島県的那賀川に来たナカちゃんまで、これにかこつけて見物客に様々な物を売る商売や、アザラシの住民票を発行して情報発信する役場の取り組みなど、民間、行政を問わずそのしたたかさは頭が下がる。しかし、アテナを上げ、少しづつでも小さい種をチャンスに結びつけようとするこの商魂正しい姿勢こそ、我々土佐人に欠け、身につけるべき要素だと感じる。

【編集後記】

息子がおじいちゃんとお遊ぶ時のアイテムは専らバター。カップの代わりにおもちゃの隙間を通して猛練習。うるさいギャラリーの望みは一つ。「タイガーウッズみたいになって、お父さんに豪邸建てよう！」